

令和2年度富士山世界文化遺産協議会事業報告

1 富士山の保存管理に向けた取組

(1) 富士山世界文化遺産協議会の開催

世界遺産富士山の保存管理及び整備活用並びにその周辺環境の保全を推進するため、富士山世界文化遺産協議会を開催した。

開催日・会場	開催内容
<p>【第13回】 令和2年8月 書面による決議</p>	<p>議 事</p> <p>(1) 遺産影響評価手法の導入について</p> <p>(2) 利用者負担制度について</p> <p>(3) 来訪者管理戦略における次期計画期間の指標・水準及び対策について</p> <p>(4) 包括的保存管理計画の改定について</p> <p>(5) 富士山南麓における送電設備建替計画について</p>
<p>【第14回】 令和3年3月 書面による決議</p>	<p>報 告</p> <p>(1) 「富士山登山鉄道構想」に対する学術委員会提言について</p> <p>(2) ユネスコへの定期報告について</p> <p>議 事</p> <p>(1) 世界遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」遺産影響評価マニュアル（案）について</p> <p>(2) 公平で分かりやすい利用者負担制度について</p> <p>(3) 富士山須走口五合目における園地事業の遺産影響評価（案）について</p> <p>(4) 令和元年度経過観察指標に係る年次報告書（案）について</p> <p>(5) 令和2年度事業報告及び収支決算（見込）について</p> <p>(6) 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について</p> <p>(7) 富士山世界文化遺産学術委員会設置要綱の改正について</p>

(2) 富士山世界文化遺産学術委員会の開催

富士山世界文化遺産協議会に対し、学術的な見地から資産及びその周辺環境の保存管理と整備活用に関する助言、報告を行うため、富士山世界文化遺産学術委

員会を開催した。

開催日・会場	開催内容
<p>【第14回】 令和2年10月15日(木) Web会議方式</p>	<p>報 告 (1)今夏の富士山の状況(閉山)と来夏に向けた取組について</p> <p>議 事 (1)「富士山登山鉄道構想」に係る中間提言(案)について (2)世界文化遺産富士山遺産影響評価マニュアル(素案)について (3)富士山須走口五合目における園地事業の遺産影響評価について (4)経過観察指標に係る年次報告について</p>
<p>【第15回】 令和3年2月2日(火) 書面による決議</p>	<p>議 事 「富士山登山鉄道構想」に対する提言(案)</p>
<p>【第16回】 令和3年2月26日(金) Web会議方式</p>	<p>報 告 (1)「富士山登山鉄道構想」に対する提言について (2)ユネスコへの定期報告について</p> <p>議 事 世界遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」遺産影響評価マニュアル(案)について</p>

(3) 富士山世界文化遺産学術委員会小委員会の開催

富士山世界文化遺産学術委員会が助言、報告を行う事項のうち、事前の準備・調整が必要な特定課題に対する詳細な検討を行うため、小委員会を開催した。

①H I A小委員会

開催日・会場	開催内容
<p>令和2年7月7日(火) Web会議方式</p>	<p>議 事 (1)遺産影響評価マニュアル(素案)について (2)須走口五合目インフォメーションセンター建設について</p>

令和2年9月28日(月) Web会議方式	議 事 (1) 富士山須走口五合目における園地事業の遺産影響評価について (2) 遺産影響評価マニュアル(素案)について
令和2年12月18日(金) Web会議方式	議 事 「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」遺産影響評価マニュアル(素案)について
令和3年1月14日(木) Web会議方式	議 事 「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」遺産影響評価マニュアル(素案)について

②新交通システム小委員会

開催日・会場	開催内容
令和2年7月13日(月) Web会議方式	議 事 (1) 富士山登山鉄道構想骨子の説明及び意見交換 (2) 第13回学術委員会(令和2年2月6日開催)で出された主な意見の確認 (3) ユネスコへの情報提供について意見聴取
令和2年9月4日(金) Web会議方式	議 事 (1) 「富士山登山鉄道構想」に関する法令及び諸制度の概要 (2) 富士山(山梨県側)の現状・課題と登山鉄道のメリット・デメリット
令和2年9月23日(水) Web会議方式	議 事 第14回学術委員会における経過報告(案)について
令和2年12月3日(木) Web会議方式	議 事 (1) 富士山登山鉄道構想(素案)について (2) 富士山登山鉄道に係るH I Aの枠組みについて
令和2年12月25日(金) Web会議方式	議 事 富士山登山鉄道に係るH I Aの枠組みについて
令和3年1月14日(木) Web会議方式	議 事 第15回学術委員会における最終提言(案)について

(4) 富士山世界文化遺産協議会作業部会の開催

富士山世界文化遺産協議会における協議事項の事前調整等を行うため、富士山世界文化遺産協議会作業部会を開催した。

開催日・会場	開催内容
【第18回】 令和2年6月24日(水) 書面による意見照会	意見照会 (1)利用者負担制度について (2)来訪者管理戦略における次期計画期間の指標・水準及び対策について (3)包括的保存管理計画の改定について (4)富士山南麓における送電設備建替計画について 報 告 遺産影響評価マニュアルの検討状況について
【第19回】 令和2年11月16日(月) Web会議方式	報 告 (1)今夏の富士山の状況(閉山)と来夏に向けた取組について (2)利用者負担専門委員会における協議状況について (3)「富士山登山鉄道構想」に係る中間提言について 議 事 (1)世界文化遺産富士山遺産影響評価マニュアル(素案)について (2)富士山須走口五合目における園地事業の遺産影響評価について (3)経過観察指標に係る年次報告について
【第20回】 令和3年3月15日(月) Web会議方式	報 告 (1)「富士山登山鉄道構想」に対する学術委員会提言について (2)ユネスコへの定期報告について 議 事 (1)世界遺産「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」遺産影響評価マニュアル(案)について (2)公平で分かりやすい利用者負担制度について

(5) 富士山利用者負担専門委員会の開催

富士山における利用者負担のあり方を専門的見地から検討するため、富士山利用者負担専門委員会を開催した。

開催日・会場	開催内容
【第10回】 令和2年10月23日(金) Web会議方式	議 事 富士山利用者負担専門委員会中間報告について

【第11回】 令和2年2月16日（火） Web会議方式	議 事 公平でわかりやすい利用者負担制度の実現について
--	--------------------------------

（6）富士山保全協力金利用者負担制度ワーキングの開催

富士山利用者負担専門委員会が助言、報告を行う事項のうち、事前の準備・調整が必要な特定課題に対する詳細な検討を行うため、ワーキングを開催した。

開催日・会場	開催内容
令和2年8月3日（月） Web会議方式	議 事 (1) 検討の進め方 (2) 新たな富士山利用者負担制度の検討における課題整理
令和2年9月4日（金） Web会議方式	議 事 徴収方法の検討 ※その他 自然公園法について（環境省）
令和2年9月30日（水） Web会議方式	議 事 富士山利用者負担専門委員会中間報告（案）について
令和2年12月24日（木） Web会議方式	議 事 新たな利用者負担制度の提言 徴収方法

（7）経過観察の実施及び報告書作成

資産の保存管理及び周辺環境の保全の状況を把握するため、経過観察を実施し、その指標に係る令和元年度の年次報告書を作成した。

（8）富士山登山者数平準化等促進業務

富士山における著しい混雑の緩和のための混雑平準化等動画を作成するとともに、混雑予想カレンダーを掲載したチラシのリニューアルを行った。

なお、作成した動画及びチラシについては、令和3年の開山に向けて令和3年度に、動画掲載サイト等を活用した積極的な広報を行う予定である。

【混雑平準化等動画】

長編・・・混雑平準化のための内容に加え、富士山の文化的価値の紹介及び
新型コロナウイルス感染症対策のための新しい登山マナーを紹介

短編・・・混雑平準化の内容及び上記新しい登山マナーを紹介

【混雑予想カレンダーチラシ】

混雑平準化のための内容及び上記新しい登山マナーを紹介

※来訪者管理に係るモニタリングについて、富士山が開山しなかったことにより本年度は中止した。

2 普及啓発に関する取組み

(1) パンフレットの作成・配布

①世界遺産富士山パンフレット

25の構成資産ひとつひとつが資産全体の一部を成し、富士山の上方及び山麓における巡礼路全体の一部であることを来訪者が容易に認知・理解できるようにするため、また、各構成資産への訪問を誘導するため、世界遺産富士山パンフレット（大人用・子供用）を一部修正し、配布した。

[単位：部]

大人用						子供用
日本語	英語	中国語（簡体）	中国語（繁体）	韓国語	タイ語	（日本語）
17,900	5,300	2,200	1,800	1,800	1,900	11,800

②世界遺産巡り全25の構成資産アクセス&ガイド

山麓の構成資産の周知・認知向上を図るとともに、周辺施設を含めた山麓地域への周遊の促進を図るため、山麓の構成資産へのアクセス方法や施設情報等を示したガイドマップ（日本語版）を一部修正し、配布した。また新たに英語版を作成し、配布を行った。

- ・日本語版 9,000部
- ・英語版 3,000部

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、複数回関係市町村等に希望部数の照会を行い実態に即した印刷部数とし、例年と比較し印刷部数を削減した。

(2) ホームページの更新及び情報発信

世界文化遺産協議会ホームページを随時更新し、世界遺産富士山の顕著な普遍的価値及び保全の取組等についての情報発信を行った。